

【書く・なぞる】俳句 杉田久女 二

桜散る 松のこずゑは 揺れざりき

かりがねの 影も寒さよ 渋紙戸

炎天や 花なき藤の 垣ばかり

草の花 子規と墓辺の 枯すすき

葛の花 踏みしだかれて 色あたらし